

平成26年度 五泉市算数部 活動報告

部長 阿部 美和子

1 活動のねらい

授業研究や情報交換を通して、授業力の向上を図る。

2 研究の概要

第1回研修	4月16日(水)	年間活動計画, 役割分担
第2回研修	6月25日(水)	講演会
第3回研修	9月10日(水)	指導案事前検討会
第4回研修	10月22日(水)	授業研究

3 研究の実際

① 第2回研修 6月25日(水)

講師 元三条小学校長 金子 周一 様

講話 算数学習について考えよう! ~学習指導における指導力を向上させるために~

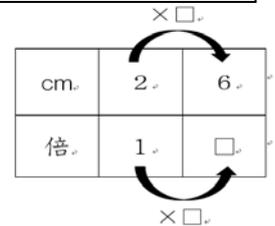
- 学習指導が「優秀」であるとは…
優→優しく, 情的な理解が豊か。秀→知識が豊富で技術に長ける。
「優」が見えにくくなると, 厳しくなりがち。子どもの心理を見る目を培おう。
- よい教材とは…
「子どもがわくわくする」「教師もどうなるか分からなくてわくわくする」もの。
「〇〇さんと同じようにやってごらん。」というように, 再試行ができるもの。
- 間違えずに正しい答えを出すという姿勢ではなく, 教師も一緒になって「わくわくしながら」追求すると, 子どももどんどん追求する姿になってくる。

② 第4回研修 10月22日(水) 授業研究

授業者 茂呂 ゆかり教諭(巢本小学校)

単元名 『テープ作り(何倍でしょう)』(3年生)

指導者 五泉市教育委員会学校教育課 指導主事 清水 正明 様



〈授業より〉

前時の「かけ算で倍の長さを求める問題」と比較させ、「何倍か求める問題ではわり算を使うこと」を, テープ図や4ます関係表から理解させることをねらいとした。

前時と本時の問題文やテープ図を並べて提示することで, それらの違いを理解させることができた。しかし, 4ます関係表に数値を書き入れたり, $2 \times \square = 6$ の式を導き出したりした児童が少なかった。テープ図と4ます関係表を対応させて, 段階的におさえていく必要があった。今後も繰り返し指導し, 活用できるようにさせたい。

〈指導者より〉

授業研究は, 自分が理想とする授業像を磨くためにある。発問, 板書, 子どものノートを取り方, 指名などを文章化できるほど具体化して, 磨き上げておく必要がある。

本時では, 問題文にふさわしい4ます関係表の検討をさせ, もっと子どもに考えさせる場面があるとよかった。

4 成果と課題

算数科における教師の役割, 教材の捉え方について講師の先生方から方向性を示していただいたことが大きな成果であった。授業研究では, 系統的に学習していかなければならない内容や, 本時で教えることと考えさせることはそれぞれ何かについて意見を出し合い, 交流することができた。ここで得た情報や知識を実際に活用していきたい。